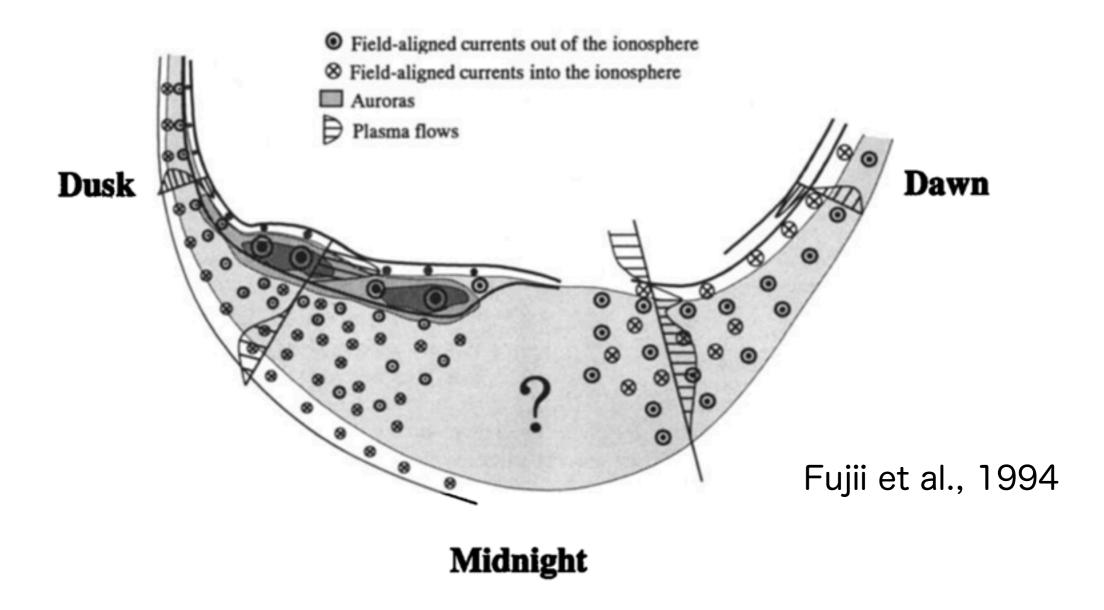
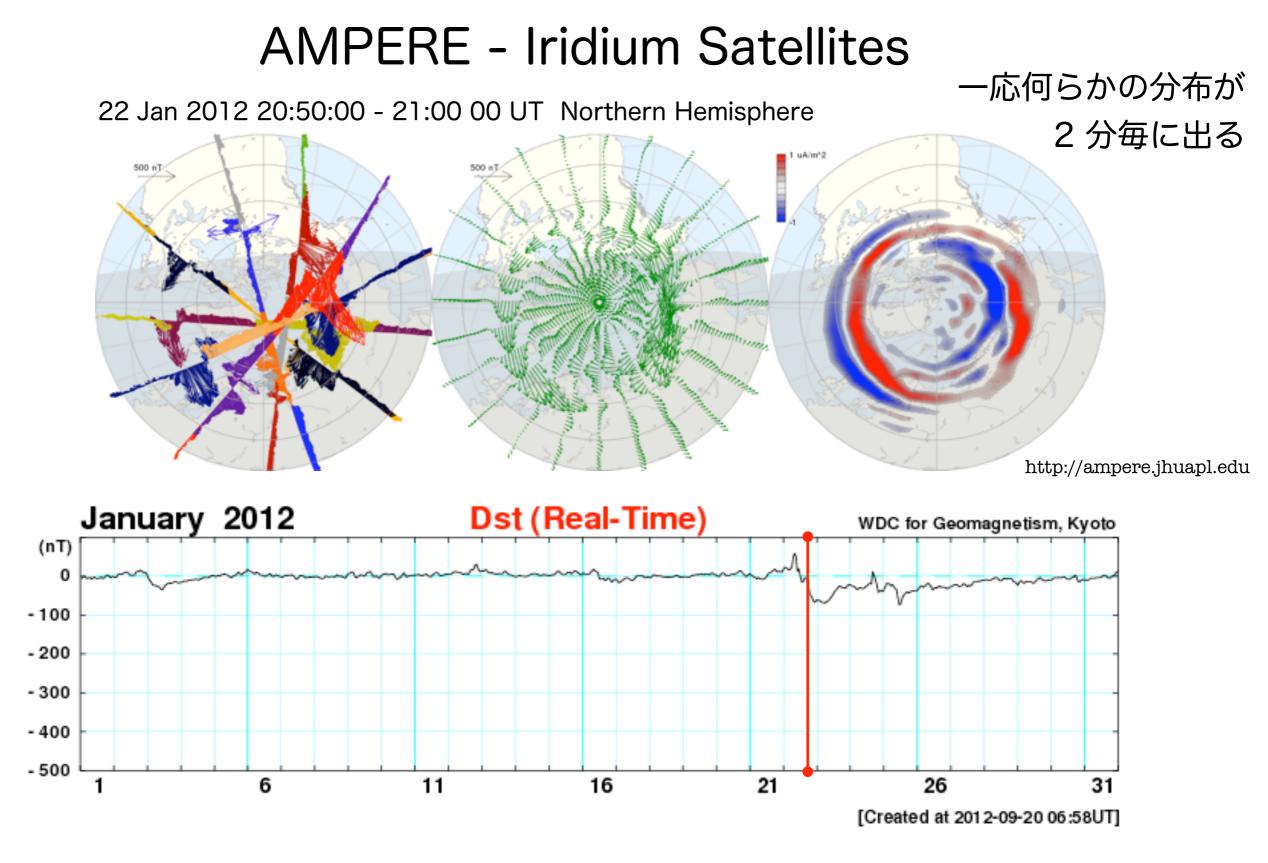
## SuperDARN + IMAGE FUV による FAC 空間分布の推定

細川敬祐@電通大 + 小川泰信@極地研 + 吉川顕正@九州大



- ★ SuperDARN の電場 + IMAGE FUV 伝導度を使って FAC の分布を導出(したい)
- ★ 極域全域にわたるグローバルな FAC の時間発展を追跡 → 宇宙天気図的なこと
- ★ オーロラバルジ近傍のローカルな FAC の時空間発展 → MIC の物理の深い理解

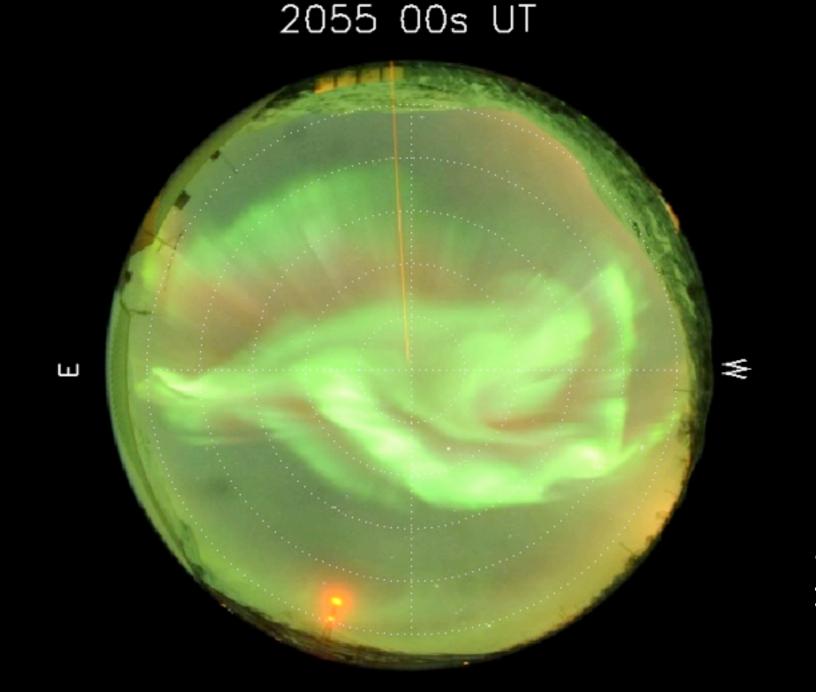
### FAC 空間分布の時間変化を追跡: AMIE, KRM, AMPERE

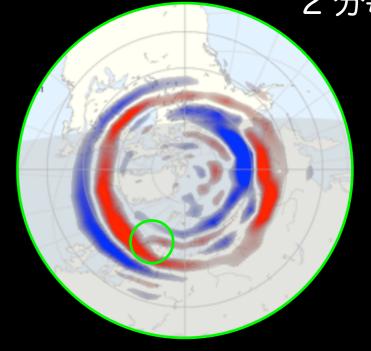


## FAC 空間分布の時間変化を追跡: AMIE, KRM, AMPERE

### **AMPERE - Iridium Satellites**

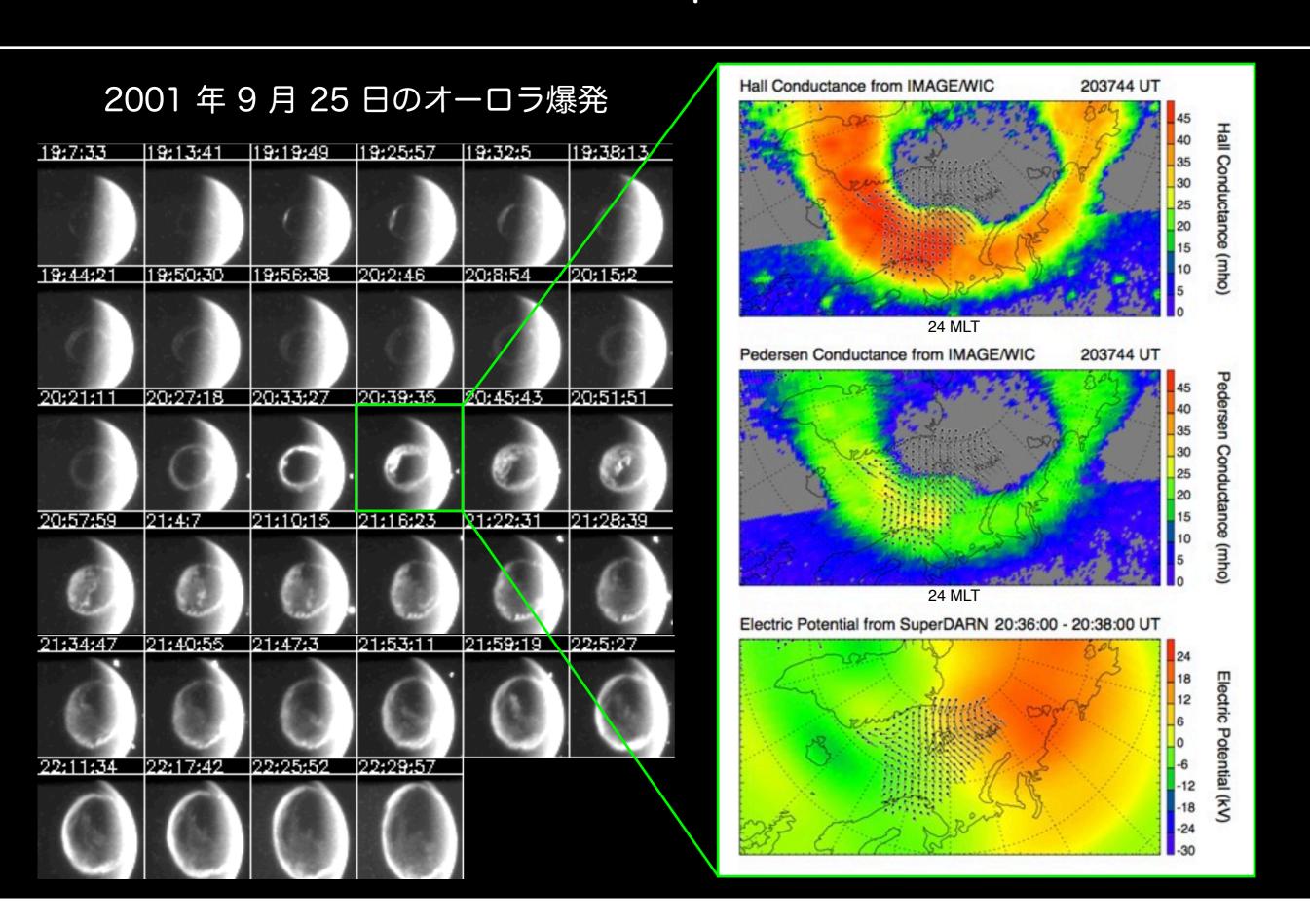
一応何らかの分布が 2 分毎に出る





ローカルな分布は 期待していたほど 複雑ではない?

# IMAGE FUV の伝導度 + SuperDARN の電場 → FAC



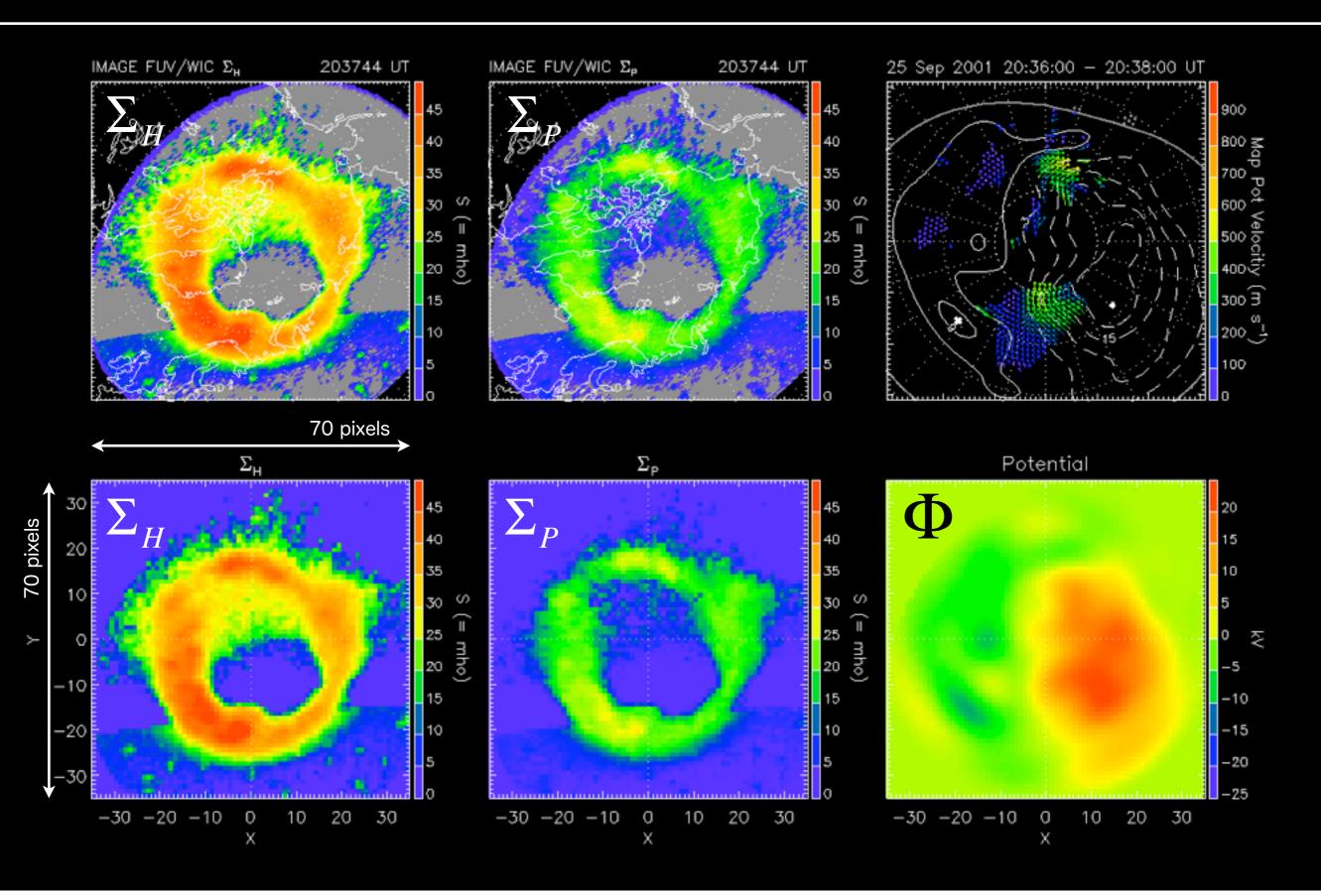
#### 教科書通りのやり方

→ FAC の電流密度 - 下向き正, 上向き負

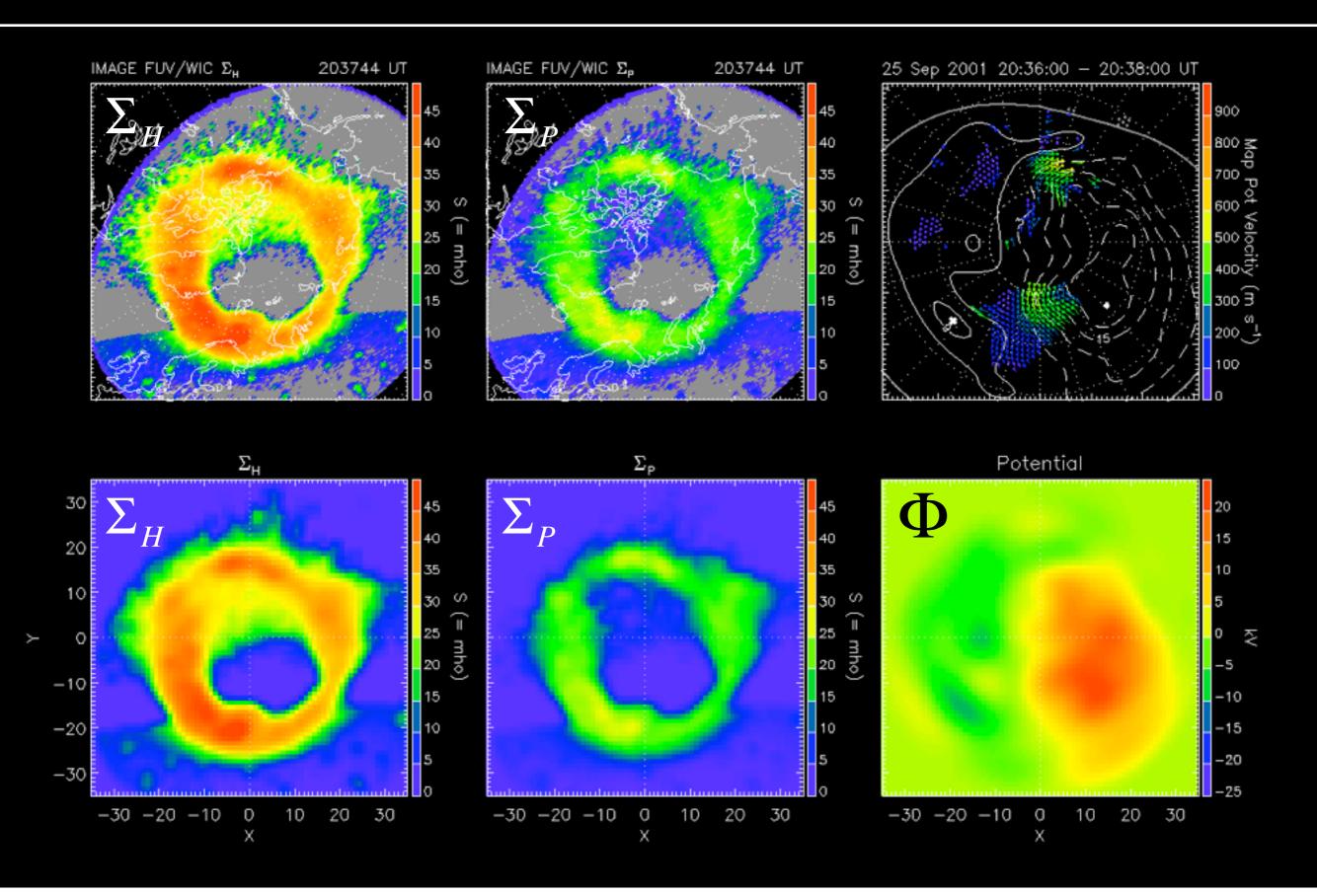
$$egin{array}{lll} egin{array}{lll} egin{ar$$

5

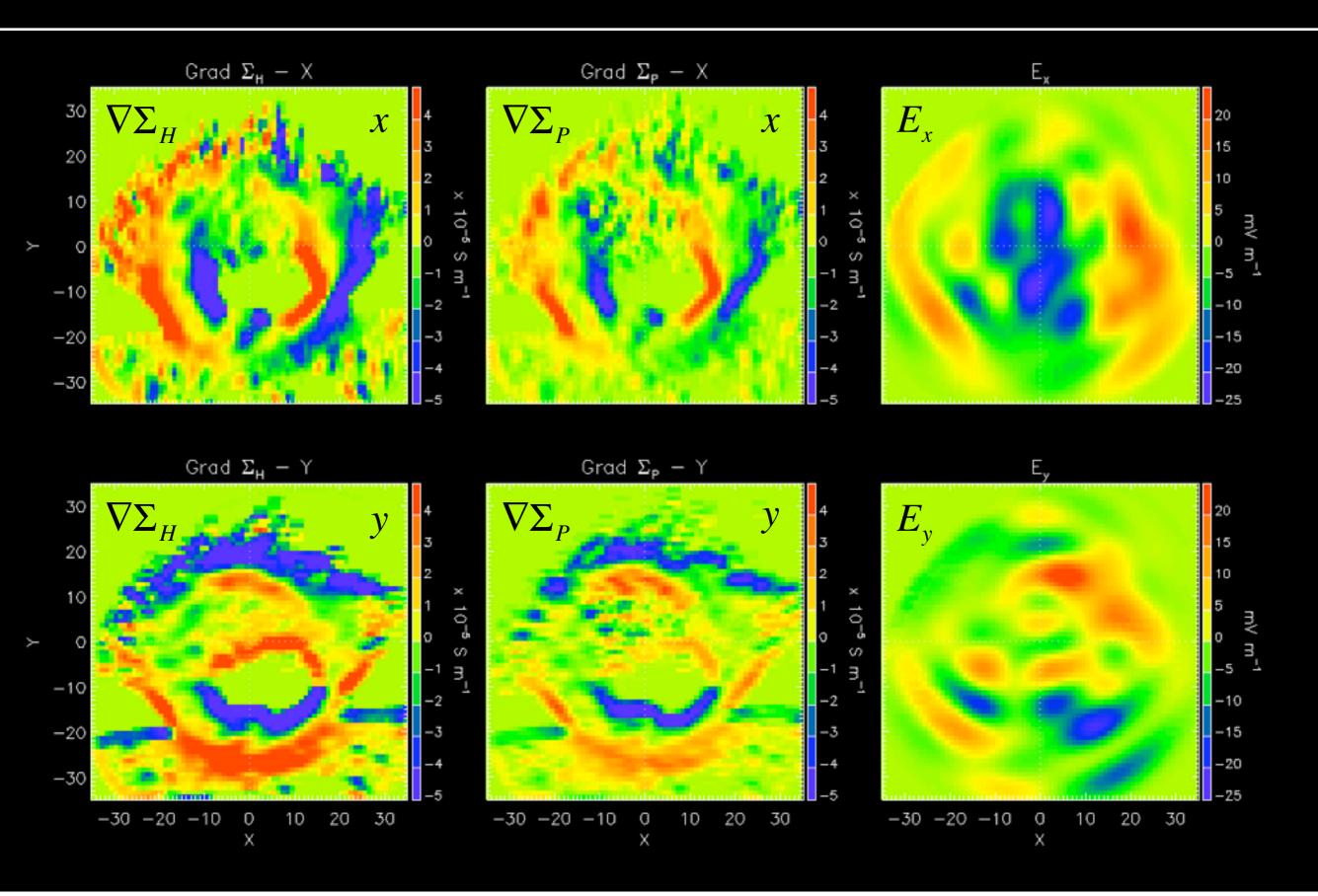
# $j_{\parallel} = \Sigma_{P} \nabla \cdot \mathbf{E} + \nabla \Sigma_{P} \cdot \mathbf{E} + (\nabla \Sigma_{H} \times \hat{e}_{B}) \cdot \mathbf{E}$



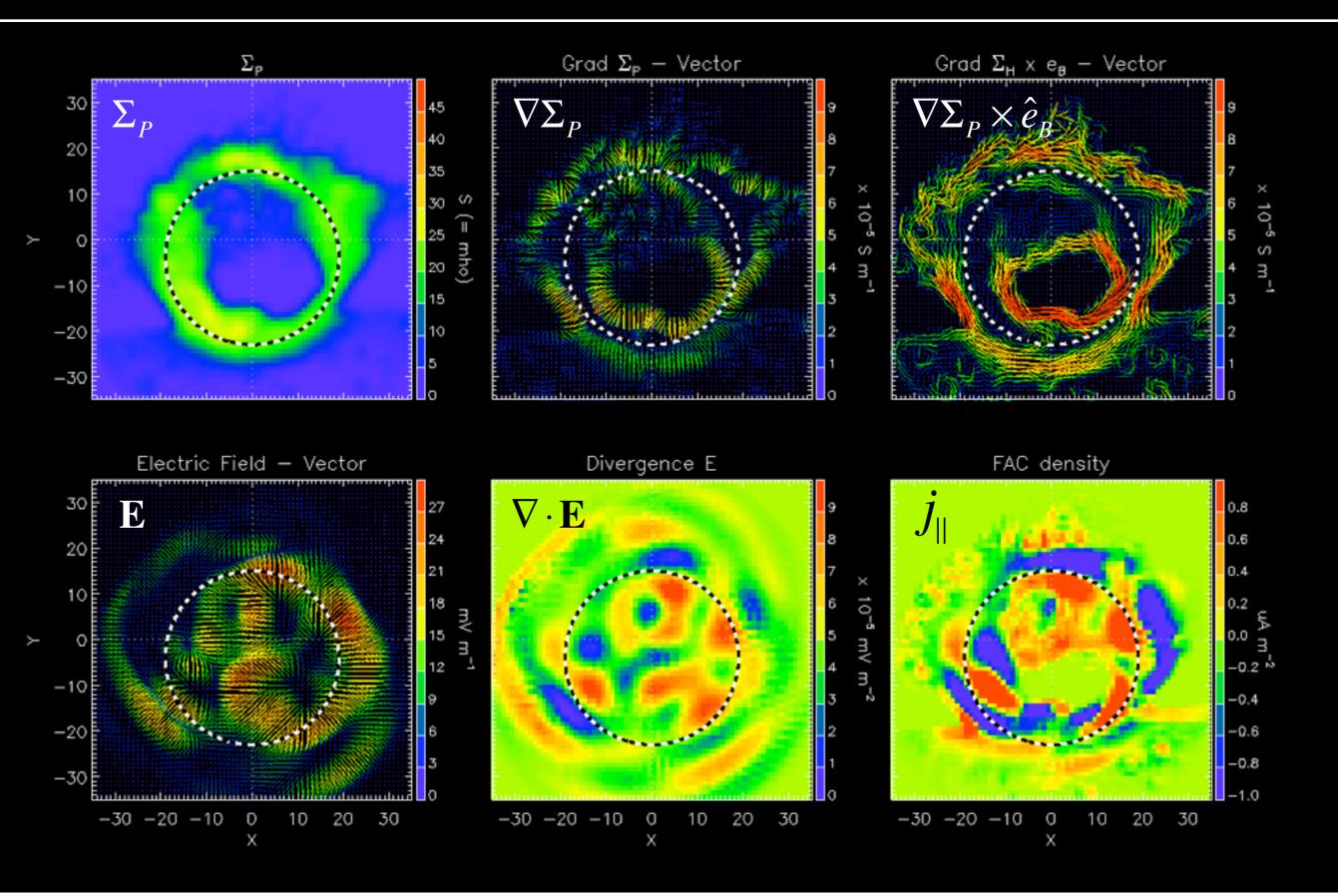
# $j_{\parallel} = \sum_{P} \nabla \cdot \mathbf{E} + \nabla \Sigma_{P} \cdot \mathbf{E} + (\nabla \Sigma_{H} \times \hat{e}_{B}) \cdot \mathbf{E}$



# $|j_{\parallel} = \Sigma_{P} \nabla \cdot \mathbf{E} + \nabla \Sigma_{P} \cdot \mathbf{E} + (\nabla \Sigma_{H} \times \hat{e}_{B}) \cdot \mathbf{E}$

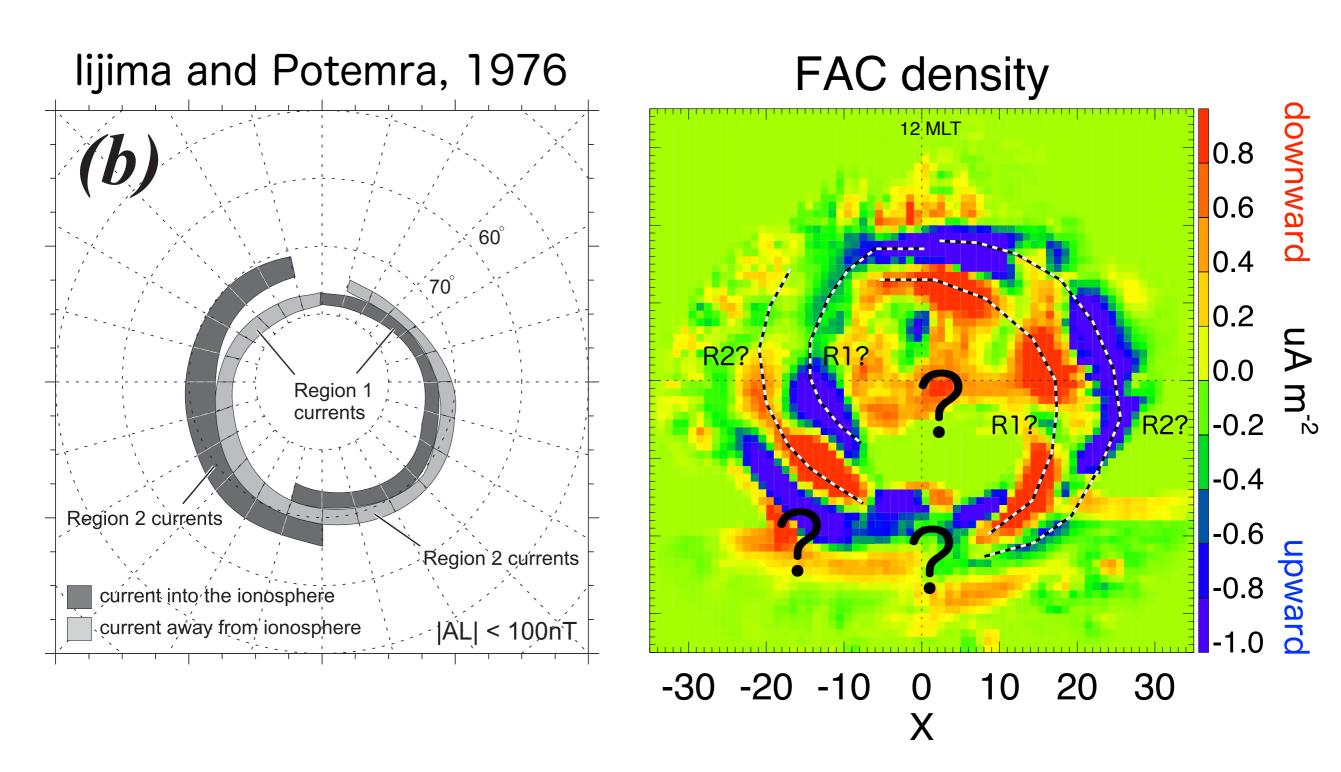


# $j_{\parallel} = \sum_{P} \nabla \cdot \mathbf{E} + \nabla \sum_{P} \cdot \mathbf{E} + (\nabla \Sigma_{H} \times \hat{e}_{B}) \cdot \mathbf{E}$

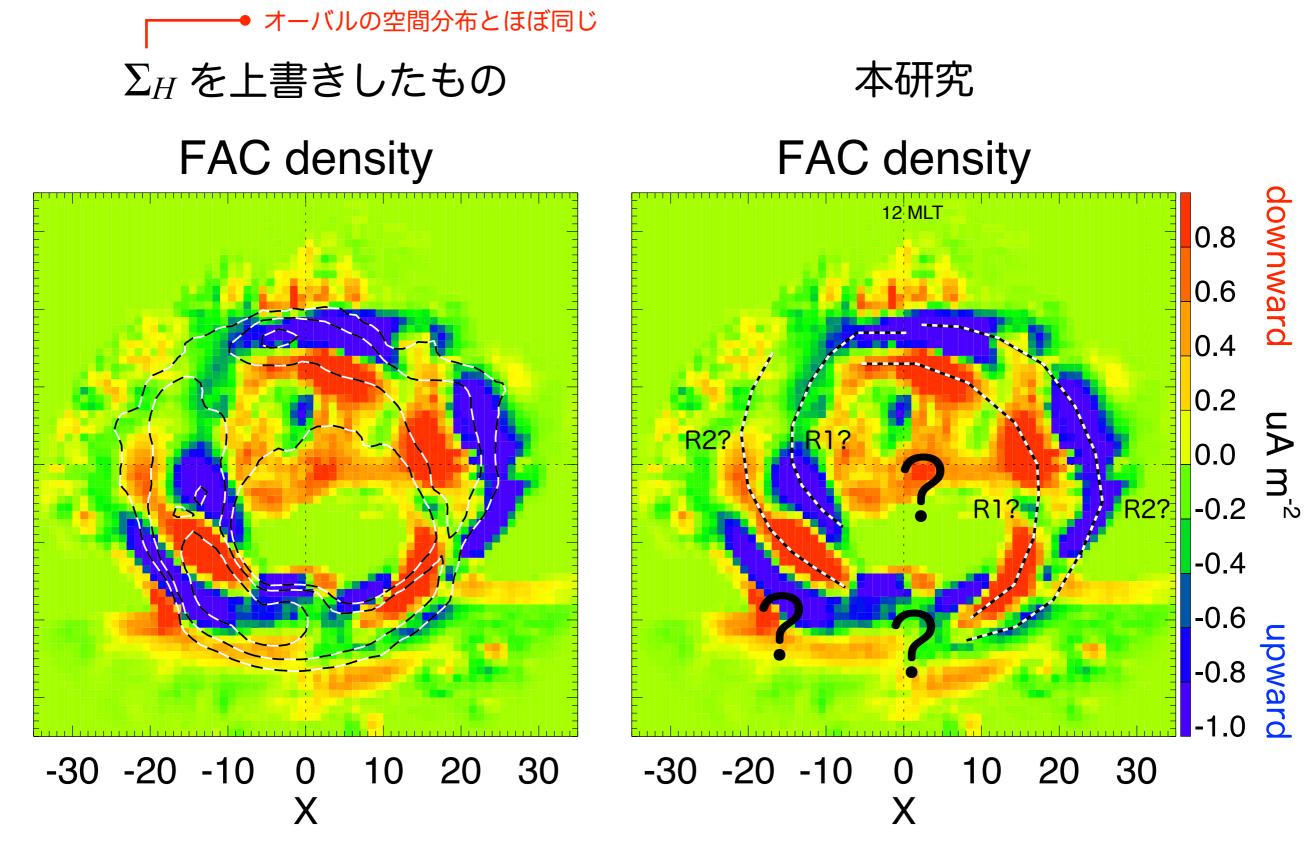


#### FAC 空間分布

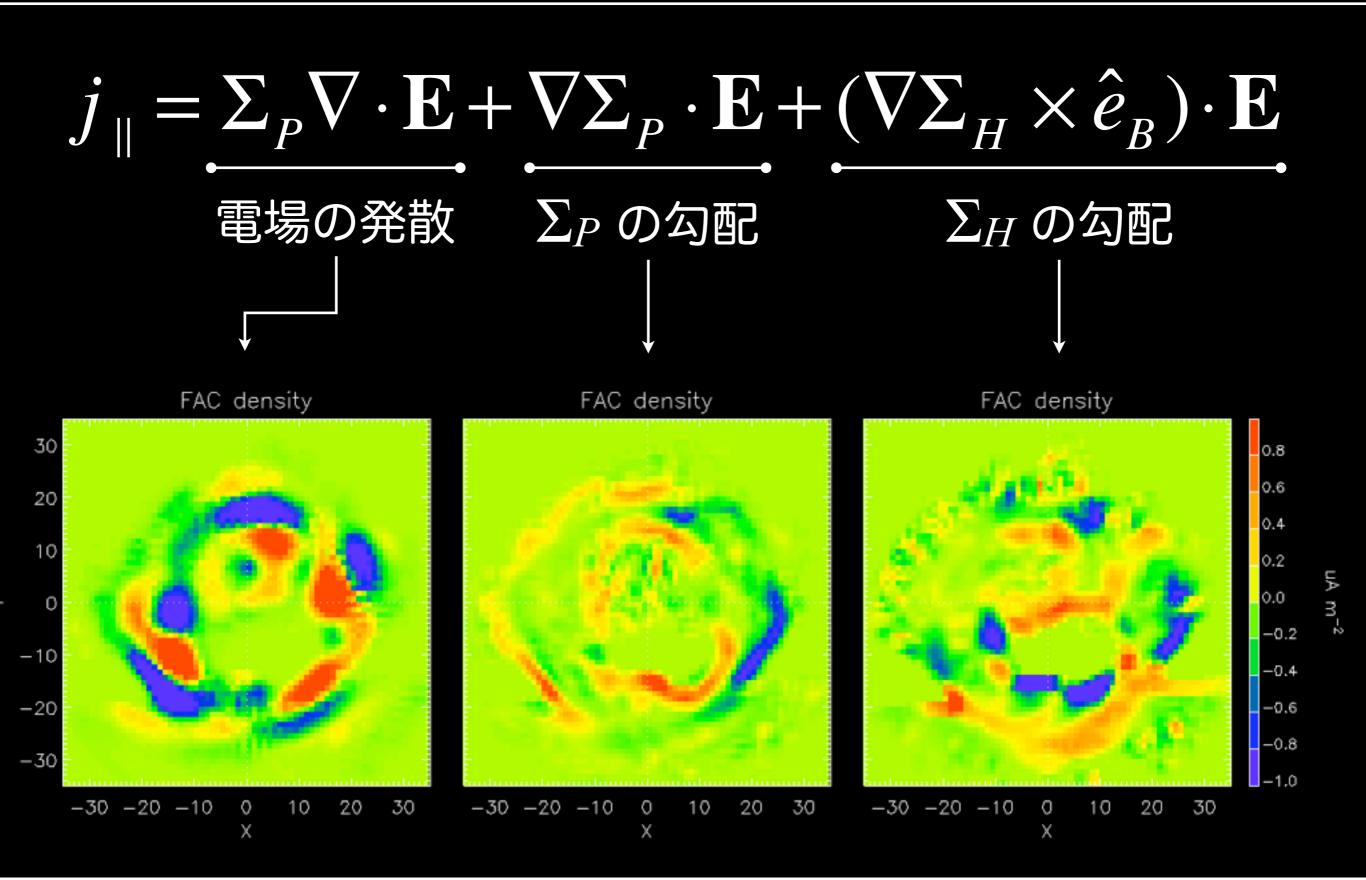
#### 統計モデルとの比較 - 大規模な R1 & R2 はそれなりに見える



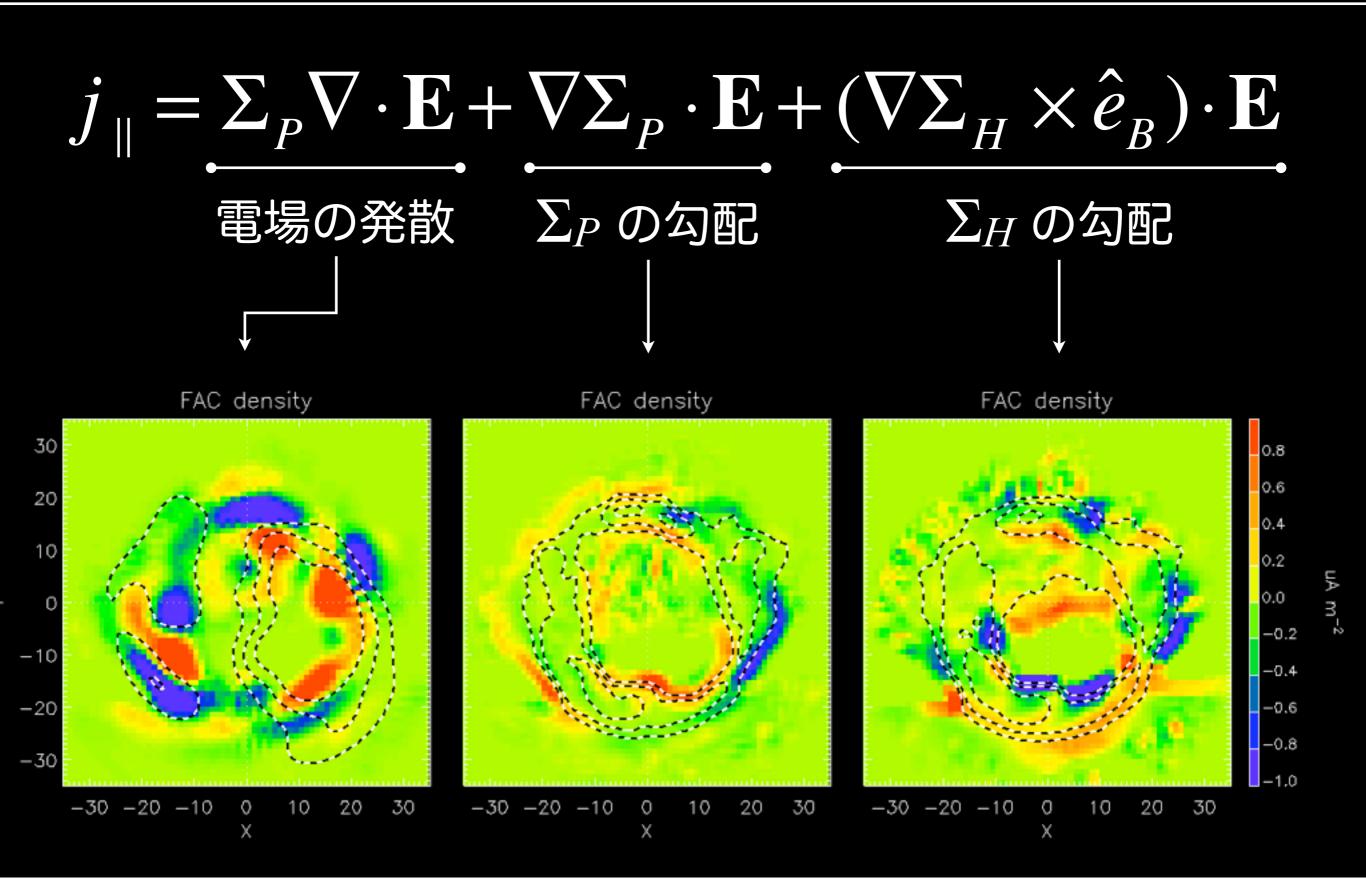
## FAC 空間分布



### 3 つの項の間のバランスは?



### 3 つの項の間のバランスは?



#### まとめと今後の課題

#### やっていきたいことと狙い:

- ★ SuperDARN の電場 + IMAGE FUV の伝導度を使って FAC の分布を導出する
- ★ 極域全域にわたるグローバルな FAC の時間発展を追跡 → 宇宙天気図的なこと
- ★ オーロラバルジの内部および近傍の FAC の時間発展 → MIC の物理の深い理解

#### 初期解析から分かったこと:

- ★ 大規模な R1 & R2 はそれなりに見える(たぶん SuperDARN だけで見える?)
- ★ オーバルがつくる  $\nabla \Sigma_P$ ,  $\nabla \Sigma_H$  に対応して, FAC が存在することも見える.
- ★ FAC を分けると ∇・E の成分がもちろん大きいが, ホールの発散も大きい. (数値的にどの程度かは, いろいろなケースをもっと確認する必要がある)

### まとめと今後の課題

#### やっていきたいことと狙い:

- ★ SuperDARN の電場 + IMAGE FUV の伝導度を使って FAC の分布を導出する
- ★ 極域全域にわたるグローバルな FAC の時間発展を追跡 → 宇宙天気図的なこと
- ★ オーロラバルジの内部および近傍の FAC の時間発展 → MIC の物理の深い理解

★ Jan 12, 2002 についてやってみる. SuperDARN のエコーが多く, FUV も良質.

